



SOROPTIMIST®
Investing in Dreams

「DV 撤廃を目指して」と題し、タウンニュース 12/3 号の一面で記事掲載されました
2020 年 12 月 3 日(木)

国際ソロプチミスト町田
会長 柴崎亜紀子

2020 年 12 月 3 日(木)、S I 町田と S I 町田・さつきによる共同事業である「DV キャンペーン」が 1998 年(平成 10 年)からの継続事業ということで、キャンペーン開催当日、報道機関 3 社の取材を受け、各社で記事掲載されました。

女性、女兒に対する暴力の問題への取組みが、社会の意識啓発になるためにも、多くのメディアにご協力頂き、支援活動を取り上げて頂けることに心より感謝です。

タウンニュース

2020 年
(令和 2 年)

12 月 3 日(木)号

No.865

町田版

■発行：株式会社タウンニュース社 <https://www.townnews.co.jp>

■編集室：〒252-0239 相模原市中央区中央 2-6-4 TEL：042-753-8500 (代) FAX：042-769-7001

■発行責任者：宇山知成

■編集長：岸田祐亮



両者が協力11月25日、町田市役所で

国際ソロプチミスト町田(柴崎亜紀子会長、国際ソロプチミスト町田・さつき(中溝京子会長)は11月25日から12月25日(金)まで「ドメスティック・

DV 撤廃を目指して 市内 2 ソロプチが啓発

バイオレンス(家庭内暴力)終結に向けてのソロプチミストキャンペーン」を実施している。

これは国連が定める「女性に対する暴力撤廃の国際デー(11月25日)」に合わせた両団体による取り組み。市内の公共施設や職場に、DVなどを相談できる窓口を記載したポスターとカードを配布して社会に啓蒙するもので、1998年から継続して行っている。

町田警察署によると、コロナ禍で夫婦が一緒にいる時間が増えたことで、市内でもDVの相談件数が増加しているという。柴崎会長は「チラシを目立つところに掲示しても、人の目を気にして手にしてもらえないので、女子トイレなど設置する場所を考えたい」と話す。

「タウンニュース」12/3 号の一面で事掲載されました。